

ワンヘルスとこれからのまちづくり

ーワンヘルスアプローチとその都市空間計画への応用ー

国連大学サステナビリティ高等研究所
柳谷牧子



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

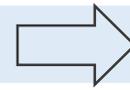
Institute for the Advanced Study
of Sustainability



COVID-19と健康というテーマの再考（感染症と人類）

近代医学のドグマ

「原因を明らかに」



「やっつける。取り除く。」

感染症の原因の
微生物を解明

その微生物をなくす

抗生物質、殺菌剤

でも . . .

ウイルスは宿主と共生
しようとするのでは
ないか？

微生物の多様性という
概念の欠如

抗生物質 → ヒト常在細菌という総体の攪乱 → 不在故の病気

常在細菌：100兆個ほどの微生物（≒ 2 kg）、1/3共通・1/3地域間・1/3個体間

ひとりひとりのヒトマイクロバイオーム



医療人類学や医療生態学の視点から感染症を考える必要があるのでは？

One Health (ワンヘルス)

2021年12月1日

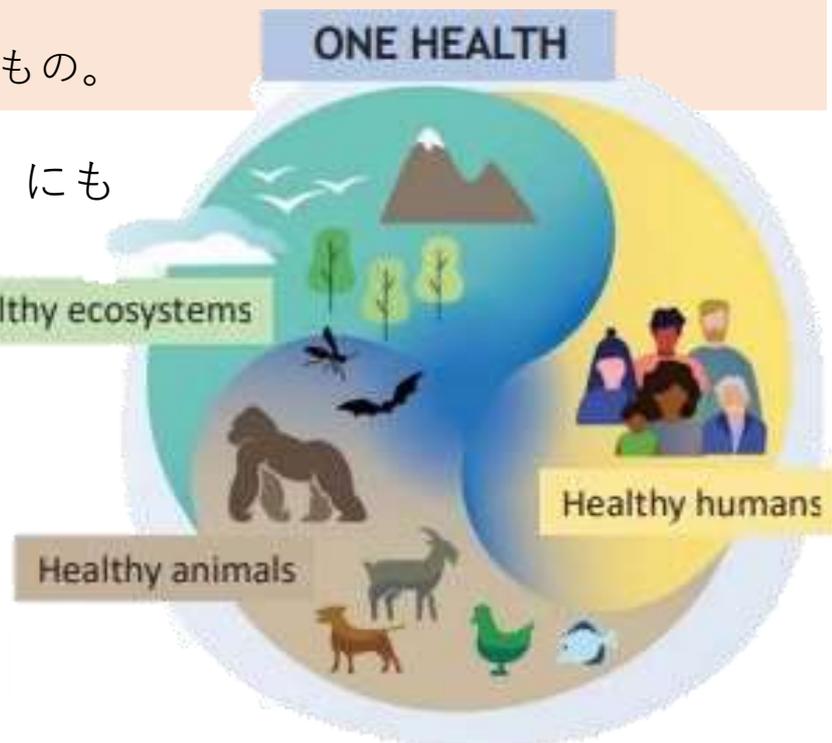
The One Health definition developed by the OHHLEP states:

One Healthとは、**人、動物、生態系の健康**の持続的なバランスと最適化を目的とした、統合的なアプローチ。

One Healthは、人間、家畜および野生動物、植物、そしてより広い環境（生態系を含む）の健康が密接に関連し、相互依存していることを認識した概念。

健康と生態系への脅威に立ち向かい、
クリーンな水、エネルギー、空気、安全で栄養価の高い食品など
集合的なニーズに対応し、
また、気候変動に対応し、持続可能な発展に貢献するもの。

→ 「ポスト2020生物多様性枠組（P-2020 GBF）にも
One Healthを組み込むことが議論されている。



生態系（というダイナミックなシステム）の健康

生態系の健全性とは、「そこにすむべき生物が、ちゃんと生きていけること」
(参考：島谷幸宏:健全な生態系とは何か？その評価と復元)

Ecosystem Integrity

Ecosystem integrity is defined as the system's capacity to maintain structure and ecosystem functions using processes and elements characteristic for its ecoregion (Dorren et al., 2004)
生物地理学的な視点で分けた地域ごとの特徴を踏まえたシステムのプロセスと要素により、
生態系の構造と機能を維持できるという能力

生態系の機能

例えば・・・

水を浄化する、空気を浄化する、洪水を抑制する、気温をコントロールする



→ 自立型、再生産できる、自然がもたらしてくれている恩恵を享受し続ける

生態系ベースのアプローチ (Ecosystem-based Approaches)

自立型、再生産できる、自然がもたらしてくれている恩恵を享受し続ける



管理コストの最小化

- 自然立地的土地利用計画
- 地理 — 土地の理
- 自然資本

→ 土地の声をよく聞いて、地域づくりをしていく。

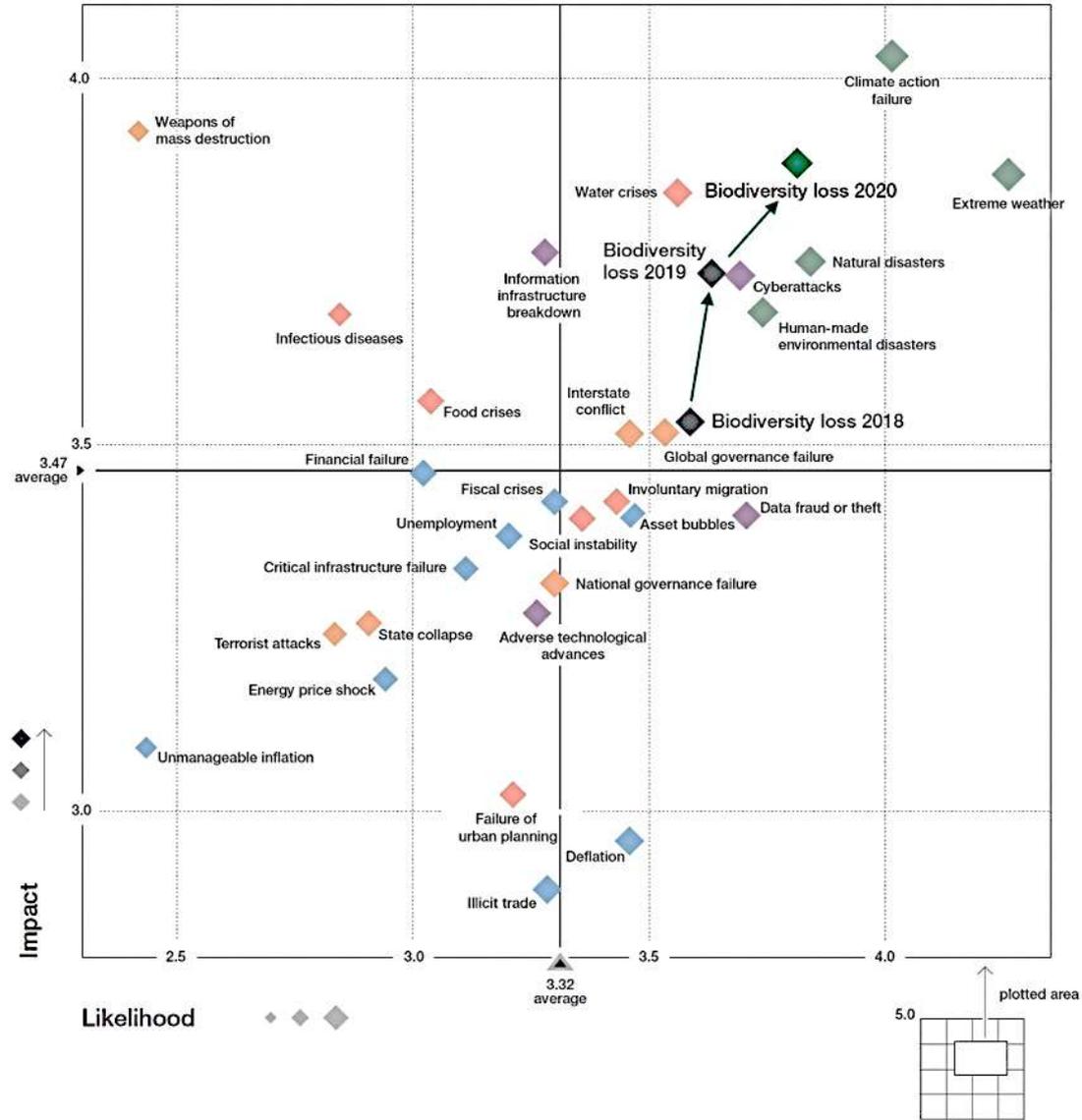
事例： **HIGH LINE** (New York)

<https://www.thehighline.org/sustainable-practices/>

- 植物の選択 (在来種、干ばつ耐性、ローメンテナンス)
- 地域資源の活用 (半径100mからの供給)
- 水やり (天水が基本)
- 堆肥 (on-site compost)
- 統合的害虫管理プログラム (殺虫剤化学肥料不使用)
- その土地の花粉媒介

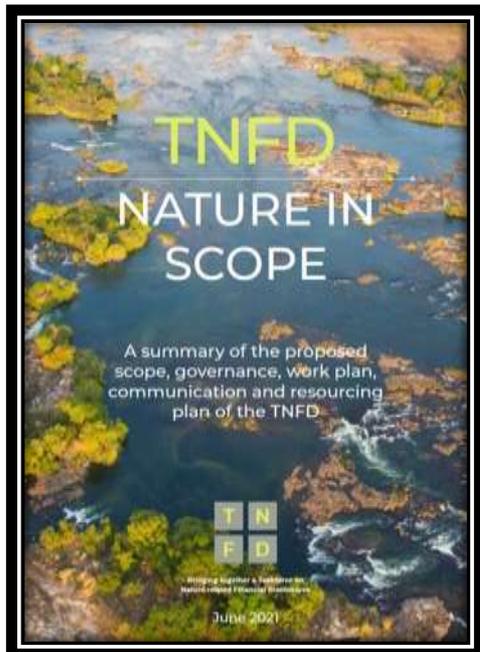


ビジネス・金融業界の動きとEcosystem-based Approaches ①



Task force on Nature-related Financial Disclosure, TNFD

- 自然資本関連のリスク管理と財務開示に関する枠組を提供する国際イニシアティブ
- 自然資本関連のリスクを踏まえた投融資先の選択が可能となり、**企業のNature-positive行動計画、Nature-positiveな製品・サービス・ビジネスモデルを誘導**
- リスク管理と財務開示に関する枠組は、2022年3月に枠組のベータ版が、ベータ版を元にした試行を踏まえて**2023年末までに最終盤が公表**予定。
- 枠組策定にあたり、現在定義、使用データ、測定手法などが検討されているが、**ランドスケープのアセスメント**を基礎に進んでいる模様。



**One Healthを叶える
Nature-positiveなまちづくりへの資源動員の機会**



世界経済フォーラム（ダボス会議）で「BiodiverCities」イニシアティブ発足（2021.1.27）



BiodiverCities by 2030



COMMITTED TO
IMPROVING THE STATE
OF THE WORLD

Today, over half the world's population lives in cities. This share is expected to rise to 68%, or nearly 7 billion people, by 2050. Material consumption is expected to grow on a business-as-usual pathway, with buildings already accounting for 30% of global energy consumption and 28% of energy-related carbon emissions. The COVID-19 pandemic has brought into sharp focus the unsustainability of current urbanization models for human and planetary health. However, cities also fuel the global economy and are, therefore, crucial to the economic and social recovery from COVID-19.

Related Projects

[Nature Action Agenda](#)

[100 Million Farmers: Transitioning towards net-zero, nature positive food systems](#)

[Future of Cities](#)

世界のリーダーが、気候変動、生物多様性の喪失、COVID-19といった相互に関連する危機に直面するにつれて、都市はこれらの世界的なリスクに対処するためのイノベーションのための重要なスペースとして浮上してきました。

都市と自然の関係を変革することは、都市の回復力を高め、都市化率の上昇によって引き起こされる環境圧力を緩和する可能性を秘めています。

この可能性を実現するには、2030年までにnature positiveな都市、つまり「BiodiverCities」への移行を加速する必要があります。

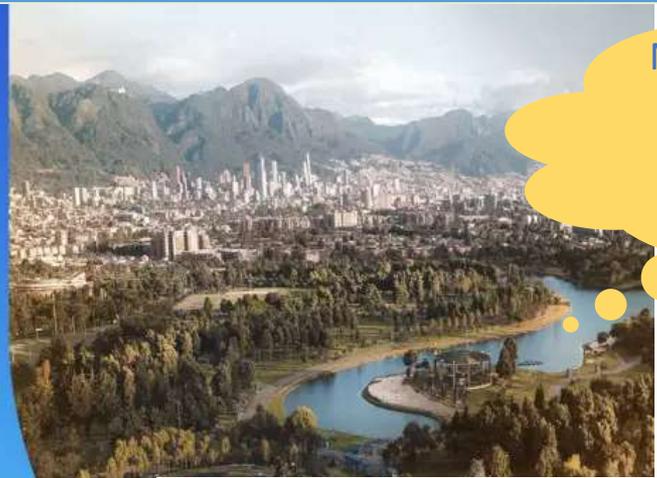
すでに進んでいる総合的な健康の概念を取り込んだ都市空間デザイン②

UPLINK | salesforce

CALL FOR SUBMISSIONS

BiodiverCities Challenge

Submission period:
28 October - 1 December 2021



Nature-positiveなまちづくり
のための
イノベーティブな
ソリューションを公募

77のソリューションが選定

UPLINK

BiodiverCities Challenge

SCALING IMPACT
Check out the Top Innovator...

SUBMISSIONS CLOS...

OVERVIEW ABOUT FOCUS AREAS IMPACT CONTRIBUTIONS FAQ

OPEN FILTERS

Sort by: Featured

Seawalls

Cities are broadly defined as the absence of nature, as places with only hardscapes and humans. This false...

Global 5 0

PopUP Forest

Cities are broadly defined as the absence of nature, as places with only hardscapes and humans. This false...

Global 5 1

Sanergy Limited: Transforming the way cities handle...

Africa 5 0

CRA-Carlo Ratti Associati: Hot Heart

Europe 3 1

TOP INNOVATOR

Husqvarna Intellion; Husqvarna Urban...

SOLUTION Nature-Based Solut...

Global 1 0

TOP INNOVATOR

The Natural History Consortium: Inspired by nature...

SOLUTION Nature-Based Solut...

Europe 1 2

TOP INNOVATOR

Trees for Cities: Nature Positive Urban Schools

SOLUTION Nature-Based Solut...

2 Regions 2 1

TOP INNOVATOR

Institute of Marine Sciences: Seatizens...

SOLUTION Nature-Based Solut...

Global 1 0

事例：自家用車から脱却する社会、家に駐車場を設けることを禁止（オランダ）

NL#TIMES

TOP STORIES HEALTH CRIME POLITICS BUSINESS TECH

BUSINESS PARKING NEW HOMES CONSTRUCTION UTRECHT AMSTERDAM

» MORE TAGS

THURSDAY, JANUARY 16, 2020 - 10:10

SHARE THIS:



Newly built homes no longer guaranteed parking space in Dutch cities

Buyers of newly built homes in the Netherlands can no longer expect a guaranteed parking space for their cars. Most municipalities currently still guarantee 1 to 1.8 parking spaces per home, but a growing number of cities are lowering this number.

Utrecht, for example, decided to create a car-free zone in the city center. Car owners who buy there will have to use public parking garages. Only one parking space is available for every three homes.

The Hague, Dordrecht, Diemen, Groningen, Haarlem and Leiden are also considering this for new-build homes. In Amsterdam, certain areas will also become car-free.

with Utrecht, the number of parking spaces is being reduced to 0.3 or sometimes 0.2 per home.

自家用車が欲しい人は遠く離れた地下駐車場へ。

これは、ユトレヒトで1万人を収容する新しい歩行者専用ゾーンを創り出すことを可能に。

自家用車スペースの代わりに、ライデン市はライデン駅前の駐輪場（無料）を拡大（中）



2050年に持続可能な社会をつくられているなら、2030年はどうなってる？

戦争がない

海にゴミが落ちてない
コンポスト100%
魔法のゴミ箱（捨てたものが再生される）
ゴミっていう概念がない
バージンのものが少ない（リサイクル素材）
シングルユースない。
100均さえ再生可能素材
買い物かご、リユーサブル、土に戻る
お店では商品が計り売り
容器、包装ない
スーパーの中で野菜が栽培されていて、購入されたらその分作られる。
プラスチックがない。プラスチック税ができています。
海底のプラスチックが大金に。海底プラスチックハンターが出現。

豊かさという概念が人それぞれ
流行（はやり）がない
それぞれが豊かな暮らしをしている
個人の「好き」が追求できる社会
自然らしさ、のある暮らし
生き方の枠がなくなる
人生観が自由
生き方の多様性が尊重されている
女性の社会進出とか言われない。

企業はサステナブルさを競ってる

エコが主流化されてる。
環境問題、はみんな考えてる。当たり前。

東京、電気つくる
クリーンなエネルギーが身近にある。
再生エネルギーが主流
参加型自家発電！一貢献度によってサービス！（地域の野菜？クーポン？）

緑、樹木が身近にある（都市にも）
人の分散、都市に集中しない
ビルが減って緑が増える

マルメジャー（一人の人がいろんな仕事）

鎌倉の浜前の魚食文化が発展している
自分の食べものを自分が作る
身近なところで食料生産
一家に一羽鶏（鶏助成金）

働く時間は減ってる
オフィスワークがずっと減る
ベーシックインカム

持続不可能な欲はバーチャルへ

地球に優しくない人は地球の外へ

オフグリッドがメジャーに

自然を豊かにする遊びが趣味
自然の中での遊びが増える
自然との関わり方、距離感とかバランス

杉山じゃない
動物に過ごしやすい山
食べ物がたくさんある山

車がない社会
ルート循環バス、どこでも乗り降り。
R134がない

高層マンションがない
コンビニがない

海の近くは街灯がなくて、月明かりを楽しむ